



2019 年度 新収蔵作品展 Present for you

2020年1月5日(日)～2月16日(日)
町田市立国際版画美術館 企画展示室2

ごあいさつ

1987年4月の開館以来、町田市立国際版画美術館は版画を中心とするユニークな美術館として、国内外のすぐれた版画作品と資料を収集・保存し、版画をテーマとする展覧会を開催してきました。また、初心者から経験者まで幅広い層を対象とした実技講座や、各種の版画制作用具を備えた工房とアトリエを制作の場として一般に開放するなど普及活動も展開し、「見る楽しみ」と「作る楽しみ」を総合的に紹介してまいりました。こうした活動を評価していただき、近年は寄贈作品の点数も増加しています。

本展では2018年度下半期から2019年度上半期に新たに当館に収蔵された148点のなかから、主な作品約50点を紹介いたします。当館は今後も、古今東西の版画の歴史が多面的・総合的に理解できる質の高いコレクションの形成を目指して、継続して収集活動につとめていきたいと考えています。

「新収蔵作品展 Present for You」とは当館に収蔵される作品が貴重な文化遺産として大切に保管され、未来へと伝えるべきものであり、同時に市民ひとりひとりから未来へのプレゼントでもあるという気持ちをこめたタイトルです。本展を通じて、当館の活動がさまざまな人々によって支えられ、市民ひとりひとり美術館のサポーターであるということをご理解いただければ幸いです。

最後になりましたが、貴重な作品や資料をご寄贈くださいました皆様、収集活動にご協力くださいました皆様に厚く御礼申し上げます。

2020年1月

町田市立国際版画美術館

◇凡例

作家・作品データは展示順に掲載しています。
各データは次の順に掲載しています。
出品番号、題名、制作年、寸法 (cm)、技法
作家名(ローマ字)については姓を大文字で表記しています。

二代喜多川歌麿 KITAGAWA Utamaro II 生没年不詳

二代歌麿は、文化3年(1806)に初代歌麿が没した後に「歌麿」を襲名した絵師。美人画や子ども絵等、初代歌麿の作風を受け継ぎながら多数の作品を世に出しました。本作は、江戸の吉原で毎年8月に行われた年中行事「吉原俄」を題材とした錦絵。描かれているのは、図中の文字情報から扇屋花扇が演じる『助六所縁江戸桜』とわかります。退色が進んでいますが、華やかな衣装に身を包んだ遊女たちの美しい姿がしのばれます。

本件は、2016～18年度に実施したふるさと納税「町田市立国際版画美術館に『歌麿』を呼ぼう！」に対し、作品寄贈というかたちでご賛同いただいたものです。

- 1 青楼仁和嘉 助六所縁江戸桜
文化3年(1806)頃
37.9×25.3
木版

山本良子氏より寄贈

浜田知明 HAMADA Chimei 大正6年(1917)～平成30年(2018)

浜田知明は熊本県出身の戦後日本を代表する銅版画家。彫刻も手がけました。東京美術学校在学中の1937年に学校の臨時版画教室で銅版画制作の手ほどきを受け、翌年に最初の銅版画作品を制作。2回の軍隊召集を経験した後、1950年から本格的に銅版画制作を開始。まもなく戦争や軍隊体験をもとにした「初年兵哀歌」で高い評価を得ました。1950年代後半からは、人間や社会、政治への諷刺をテーマとするようになります。1983年に初めての立体作品を発表。版画制作が途絶えた後も積極的にブロンズ彫刻を作りました。

《ボタン(B)》は原水爆の潜在的な不安を描いています。ブロンズの《首を!》、《人》は作家の銅版画作品を立体に移したものです。2018年に当館で「浜田知明100年のまなざし」展を開催した後、浜田は同年100歳でこの世を去りました。

- 2 ボタン(B)
昭和63年(1988)
35.3×50.8
エッチング、アクアチント
- 3 窓から一何もしてないよ(A)
平成6年(1994)
24.4×19.5
エッチング、アクアチント
- 4 抱擁
昭和59年(1984)
21.8×7.0×5.3
ブロンズ
- 5 首を!
平成4年(1992)
26.5×13.7×11.0
ブロンズ

6 人

平成4年(1992)
22.5×14.8×17.0
ブロンズ

7 晩年

平成11年(1999)
32.0×17.0×11.5
ブロンズ

2~7

濱田宏子氏より寄贈

古元 KO Gen / GU Yuan

1919 - 1996

古元は中国の木刻(木版画)の代表的な作家のひとりです。1919年広東省中山県生まれ。広東省立第一中学卒業後、教員生活を経て、1939年延安の魯迅芸術学院で木刻を学びました。1942年に毛沢東による延安文芸座談会に参加。中央美術学院教授を経て同副院長、中国版画家協会副主席を務め、国際的に活躍。農民の実生活に密着した題材を明瞭な刻線を用いて表し、素朴で風土色のある作風を確立しました。

《鞍山鋼鉄廠の修復》は戦時中に破壊された遼寧省の鞍山製鉄所の再建を描いています。また《北京労働人民文化宮》とは、新中国設立直後の1950年に設立した施設です。清代太祖の廟から、労働者のための文化、芸術、体育センターに転用されました。新中国による解放と発展をアピールするこれらの作品には、古元らしい細かい描線による写実的な表現が見られます。

8 鞍山鋼鉄廠の修復

1949年
39.5×27.5
木版

9 北京労働人民文化宮

1951年
27.5×39.5
木版

『中国木刻集』

『中国木刻集』は社団法人中日文化研究所が発行し、創立者の菊地三郎が編集。本書は日本において中国木刻を広めるのに重要な役割を果たしました。収録作品は、同研究所主催で、1947年2月に東京で開幕し翌年にかけて日本国内76箇所を巡回した、中国木刻展の出品作が中心となっています。力群ら43点の木刻を収録し、巻末には美術評論家の土方定一による解説を載せています。

10 『中国木刻集』

編集・発行人 菊地三郎
発行 社団法人中日文化研究所
昭和25年(1950)
A4サイズ

8~10

山口章子氏より寄贈

戦後版画運動関連作品

寄贈者の阿部正義氏は1960年頃に小野忠重の「版の会」に加わり版画を制作。戦後盛んになった労働者による文化サークル運動の全国組織・全日本職場美術協議会の運営に長年携わり、資料整理を行ってきました。

戦後版画運動関連作品は、寄贈者が師事した小野忠重と、滝平二郎、新居広治、上野誠、三井寿によるもの。彼らは戦後版画運動で中心的な役割を担ったメンバーです。

滝平二郎 TAKIDAIRA Jiro

大正10年(1921) - 平成21年(2009)

11 草刈り娘
昭和31年(1956)
44.8×30.7
木版

新居広治 NII Hiroharu

明治44年(1911) - 昭和49年(1974)

12 やかんの水を飲む農夫
1950年代
452×300
木版

上野誠 UENO Makoto

明治42年(1909) - 昭和55年(1980)

13 てふてふ
昭和48年(1973)
36.4×25.9
木版

小野忠重 ONO Tadashige

明治42年(1909) - 平成2年(1990)

14 スケッチ類

三井寿 MITSUI Hisashi

大正10年(1921) - 昭和63年(1988)

15 老女
制作年不明
25.5×21.0
木版

戦後版画運動関連資料

出品作のスクラップとファイルは、戦後版画運動をすすめた小野忠重、上野誠、小口一郎、飯島俊一、三井寿らの展覧会案内、展示風景写真、新聞の切抜き、手紙のやりとりが収録された貴重な資料です。アマチュア版画サークルを支援した戦後版画運動の人的交流のうちがいがい知ることができます。

また職場美術協議会の歴史資料は、当館が収蔵する日本版画運動協会機関紙(三井寿旧蔵)との関連が深く、今後の調査に寄与するものです。

16 スクラップブック 三冊
(三井寿)(小野忠重)
(上野誠・小口一郎・飯島俊一)
A4サイズ

阿部正義 ABE Masayoshi

昭和17年(1942)生まれ

17 市井の譜

平成27年(2015)頃

B5 サイズ

11~17

阿部正義氏より寄贈

小林ドンゲ KOBAYASHI Donge

大正15年(1926)生まれ

小林ドンゲは戦後に銅版画家としていち早く活躍した作家です。東京都に生まれ、1949年女子美術大学洋画科卒業。関野準一郎主催の銅版画研究会に参加。関野や駒井哲郎から銅版画を教わり、エッチングとアクアチント、そして力強いエンブレイヴィングの技法によって制作していきました。

出品作品は初期から近年までを通覧できるものです。初めて手がけた銅版画《蝶の精》、関野を描いた《孤独な男》、駒井がモデルの《酔ふ男》は初期の代表作。堀口大學による詩画集『夕の虹』の挿画、ルドンへの憧れが感じられる《空しいとき》、能や古典文学にも通じた作者ならではの版画集『雨月物語』、エンブレイヴィングの線が美しい『火の処女 サロメ』シリーズ、1990年代の官能美溢れる多色銅版画などが含まれます。佐倉市立美術館主催「小林ドンゲ展 ファム・ファタル(妖婦)」(2019年)の調査時に、これらの作品の当館への寄贈が決まりました。

18 蝶の精

昭和25年(1950)

7.5×9.9

エッチング

19 夜の蝶

昭和30年(1955)

24.9×21.6

アクアチント、エッチング

20 枯れゆく花

昭和31年(1956)

17.9×9.9

エンブレイヴィング、アクアチント

21 悪の華

昭和31年(1956)

23.0×18.5

エッチング、アクアチント

22 孤独な男

昭和31年(1956)頃

18.3×14.7

エンブレイヴィング、ドライポイント、
アクアチント

23 酔ふ男

昭和29年(1954)頃

22.1×16.6

エンブレイヴィング、アクアチント

24 祝福された二人

昭和32年(1957)頃

22.7×18.7

エンブレイヴィング、アクアチント

25 真夜中の仕事部屋

昭和30年(1955)頃

24.6×18.0

エンブレイヴィング、アクアチント、エッチング

26 詩画集『夕の虹』

昭和32年(1957)頃

22.5×17(冊子)

エンブレイヴィング他

27 夢の島(私の夢)

1950年代

18.2×22.5

エンブレイヴィング、アクアチント

28 沼の花

1950年代

8.4×9.5

エッチング、アクアチント

29 浅芽ガ宿(春を待つ女)

昭和38年(1963)

17.8×11.9

エンブレイヴィング、アクアチント

30 夢窓の鯉魚

昭和38年(1963)

18.4×12.2

エンブレイヴィング、アクアチント

31 白鳥とレダ

昭和30年(1955)頃

14.2×24.8

エンブレイヴィング、アクアチント、手彩色

32 空しいとき

昭和33年(1958)頃

22.3×15.8

エンブレイヴィング、アクアチント

33 版画集『雨月物語』

昭和45年(1970)

44×33(シート)

エンブレイヴィング他

34 版画集『エドガー・アラン・ポーに捧ぐ』

昭和47年(1972)

39×28(シート)

エンブレイヴィング他

35 版画集『火の処女 サロメ』

昭和51年(1976)

47×35.5(シート)

エンブレイヴィング他

36 飢餓海峡(水無月の女)

昭和56年(1981)

17.5×13.4

エンブレイヴィング、アクアチント、
ドライポイント

- 37 櫻川
昭和 61 年 (1986)
18.4×23.8
エングレーヴィング、
ソフトグラウンドエッチング
- 38 香猫早春
昭和 59 年 (1984)
32.9×24.0
アクアチント、エッチング、
ソフトグラウンドエッチング
- 39 薔薇・夜の踊り子
平成 3 年 (1991)
45.7×33.0
エングレーヴィング、アクアチント、
ソフトグラウンドエッチング

加納光於 KANO Mitsuo
昭和 8 年 (1933) 生まれ

《王のイメージ》は小林ドンゲとともに関野準一郎の銅版画研究会に参加し、作品を交換し合っていた加納光於の初期銅版画作品です。加納が初めて装丁を任された澁澤龍彦『サド復活』（弘文堂、1959年）の表紙に用いられました。

- 40 王のイメージ
昭和 32 年 (1957)
16.2×14.7
エッチング
18~40
小林ドンゲ氏より寄贈

奈良美智 NARA Yoshitomo
昭和 34 年 (1959) 生まれ

奈良美智は日本を代表する現代アーティストのひとりです。1959年青森県弘前市生まれ。1985年愛知県立芸術大学美術学部美術科油彩専攻卒業、1987年に同大学大学院修士課程修了。1988年に渡独し、国立デュッセルドルフ芸術アカデミーに在籍、マイスターシュウラー（ドイツの芸術系大学における最高学位）を取得。大きな目の少女のモチーフが特徴的な奈良の作品は、音楽や漫画といった大衆芸術の文脈で論じられ、1990年代半ばより国内外で高評価を得ています。2010年にアジア人としては二人目となるニューヨーク国際センター賞、2013年に芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。

出品作はいずれも 2000 年以降に制作。《Running Nose Brothers》他 2 点の銅版画とリトグラフは、奈良が刷り以外すべての工程を担った希少な作品です。他方、《DAMM IT ALL》他 6 点は浮世絵を思わせる職人の技術的分業による木版画です。

芸術作品のオリジナリティを探るこれらの作品群は、版画芸術と大衆文化の関係性を示すものです。商業広告を思わせる文字のレタリングや、漫画のようにデフォルメされた顔の表現は、20 世紀アメリカのポップア

ートの流れを経て、日本のサブカルチャーと結びついています。

- 41 Running Nose Brothers
平成 14 年 (2002)
56.5×65.5
銅版
- 42 Green Eyes
平成 14 年 (2002)
49.0×38.0
銅版
- 43 Fuckin' Politics!
平成 15 年 (2003)
66.0×50.5
リトグラフ
- 44 Don't Wanna Cry
平成 22 年 (2010)
42.0×29.5
木版
- 45 Gypsy Song
平成 22 年 (2010)
42.0×29.5
木版
- 46 Life is Only One
平成 22 年 (2010)
42.0×29.5
木版
- 47 Poindexter
平成 22 年 (2010)
42.0×29.5
木版
- 48 Country Home
平成 23 年 (2011)
42.0×29.5
木版
- 49 Backwards & Forwards
平成 24 年 (2012)
41.8×29.0
木版
- 50 DAMM IT ALL
平成 24 年 (2012)
41.8×29.0
木版

41~50
粕谷賢氏旧蔵、粕谷多聞氏より寄贈



Instagram



@machida_hanbi



Twitter



@machida_hanbi

2019 年度 新収蔵作品展
会期：2020 年 1 月 5 日 (日) ~ 2 月 16 日 (日)
リーフレット
2020 年 1 月 5 日発行

町田市立国際版画美術館
〒194-0013 東京都町田市原町田 4-28-1
<http://hanga-museum.jp/>